

海老名市立有馬中学校 学校運営協議会 議事録
(令和8年度 第1回)

- 1 日時 令和8年6月8日(月) 10:00～12:00
- 2 場所 海老名市立有馬中学校 図書室
- 3 出席委員 橋本瑞貴委員長、三田英樹副委員長、塩井俊勝委員、大島千佳委員、
浅井大輔委員、山口篤委員、濱野健太委員

4 会議の内容(司会: 濱野教諭)

(1) 学校長挨拶

浅井校長: 開会の挨拶

(2) 令和8年度学校教育目標、学校運営方針の承認

浅井校長: 中学校は初めてであるが、各学年の様子を様々な行事に引率して少しずつ理解をしてきている。1年生は野外教育活動、2年生は鎌倉校外学習、そして3年生は平和学習を軸にした広島修学旅行と、各行事が無事に終了した。学校運営協議会の皆様には共に有馬中学校の運営について協議し、より良い学校づくりにお力添えいただきたい。

学校教育目標については、基本的には前年度の久保谷校長が続けていた教育目標を継続していく形になる。詳細は別添資料があるのでそちらでご確認いただきたい。

現状説明(学習、生徒指導、行事について)

山口教頭: 今年度海老名市の「ひびきあう教育実践事業」研究委託事業を受け、生徒一人ひとりの学びの様子を観察して、生徒の見取りからの視点で授業改善を行っていかうという研究を始めている。すでに講師による研修や勉強会等を行い、次年度の夏の発表に向けて進めているところである。生徒支援の視点とも重なるが、多様な支援の必要な生徒も増えているなかで、校内研ともリンクさせていきたい。行事に関しては先程校長からもあったが、有馬中学校の生徒は行事を通して成長することが伝統的にみられる。二大行事においても諸先輩方が残してきた良いものを時代に合わせつつ、形にしていきたいと考える。

自転車通学や公共施設の利用の仕方等、地域から厳しい声をもらうことも多い。事故等が起こらないように啓発はしているが、なかなか響かない現状もある。雨の日の学校近辺の保護者送迎についても、危険な時もあるので引き続き呼びかけをしていきたい。

「特色ある学校づくり」予算については、例年通りのものにプラスして「伝統ある学校行事」を次世代に繋げていくための予算を若干ではあるが確保した。具体的には団旗の修繕費を検討している。今までのものは劣化も激しく、巨大なため掲げるのに危険が伴うので、形を残しつつ現代にあったものへと変えていきたい。

意見交換

- ・登校指導（年３回）について・・・濱野より実施の様子等説明。

- ・その他意見

三田委員…「特色ある学校づくり」の予算については、増額を委員会に依頼している。

塩井委員…補助指導員として、今年度は１年生で教室に入る形もとっているが、子ども同士で声を掛け合って助け合い、学びあいをしている姿が見られる。とても良い。

大島委員…コミュニティーする場（生徒・保護者）が校内にあるとよい。朝活（朝食を食べられる）等、きっかけを作れないか。

浅井校長…大和東高校等で実施例がある。小学校でも検討したが、小では難しいと感じた。

（３）校内視察

（４）その他

次回の学校運営協議会は、令和８年１０月２７日（火）１０：００から開催予定。